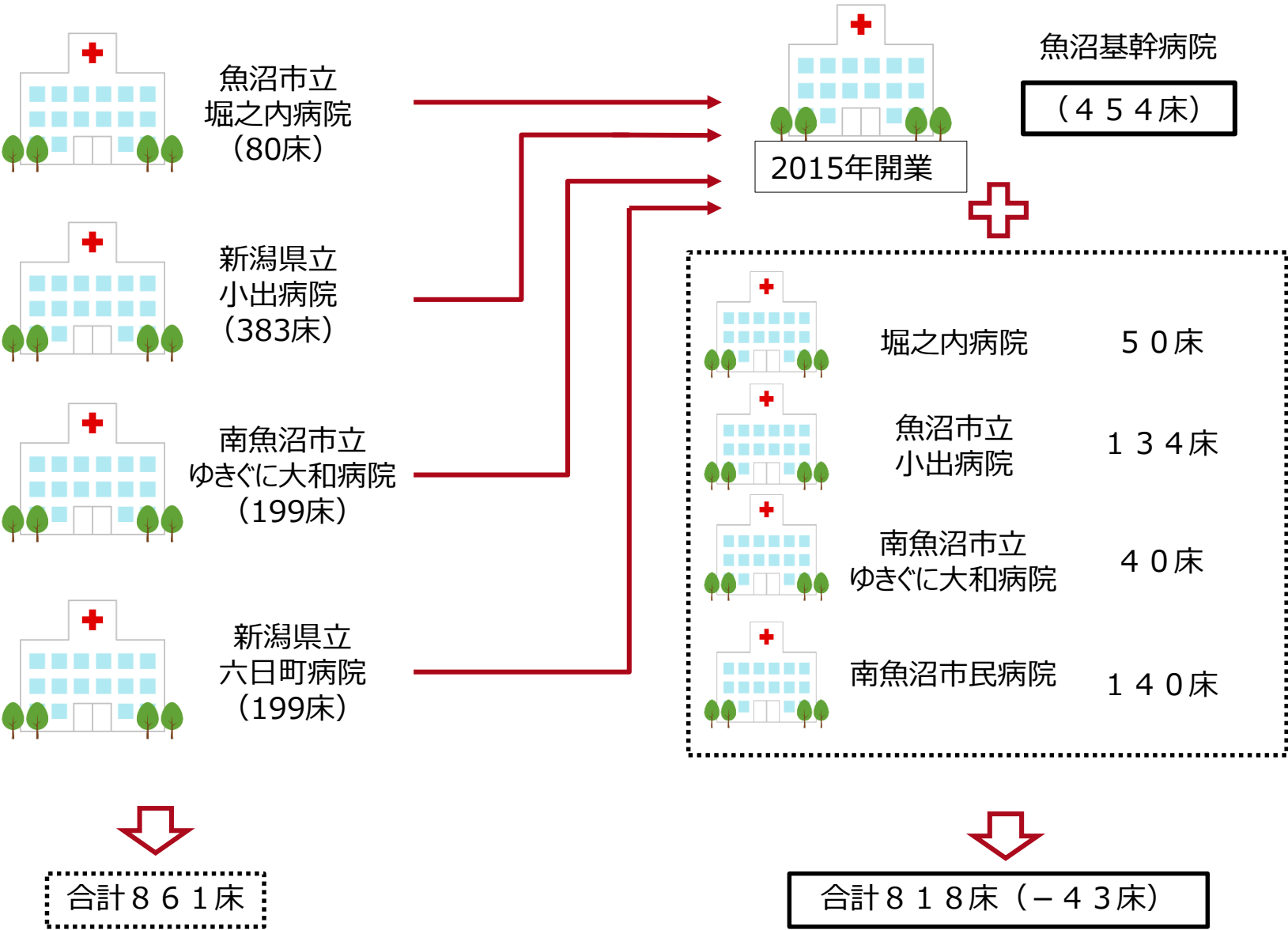


南魚沼市の医療施設の 現状と課題

第 1 回医療のまちづくり検討委員会

魚沼地域医療再編について



出典：毎日新聞 平成30年7月4日、一部改変

過去 5 年間の南魚沼市の医療機関の変化

地域	施設名	平成26年3月	平成30年4月
大和	大崎さくらクリニック	○	閉院
	萌気園浦佐診療所	○	○
	ゆきぐに大和病院	○	○
	魚沼基幹病院		○
六日町	五日町病院	○	○
	河内医院	○	○
	斎藤記念病院	○	○
	斎藤脳神経外科	○	閉院
	城内診療所	○	○
	坂内医院	○	閉院
	藤島眼科医院	○	○
	県立六日町病院→南魚沼市民病院	○	○
	やすかわ整形外科	○	○
	萌気園二日町診療所	○	○
	米倉医院	○	○
	六日町こどもクリニック		○
塩沢	青葉すこやかクリニック	○	閉院
	荒川診療所	○	○
	あんベクリニック	○	○
	ゆきあかり診療所	○	○
	静修医院	○	閉院
	風間医院	○	○
	中之島診療所	○	○
	中山医院	○	閉院

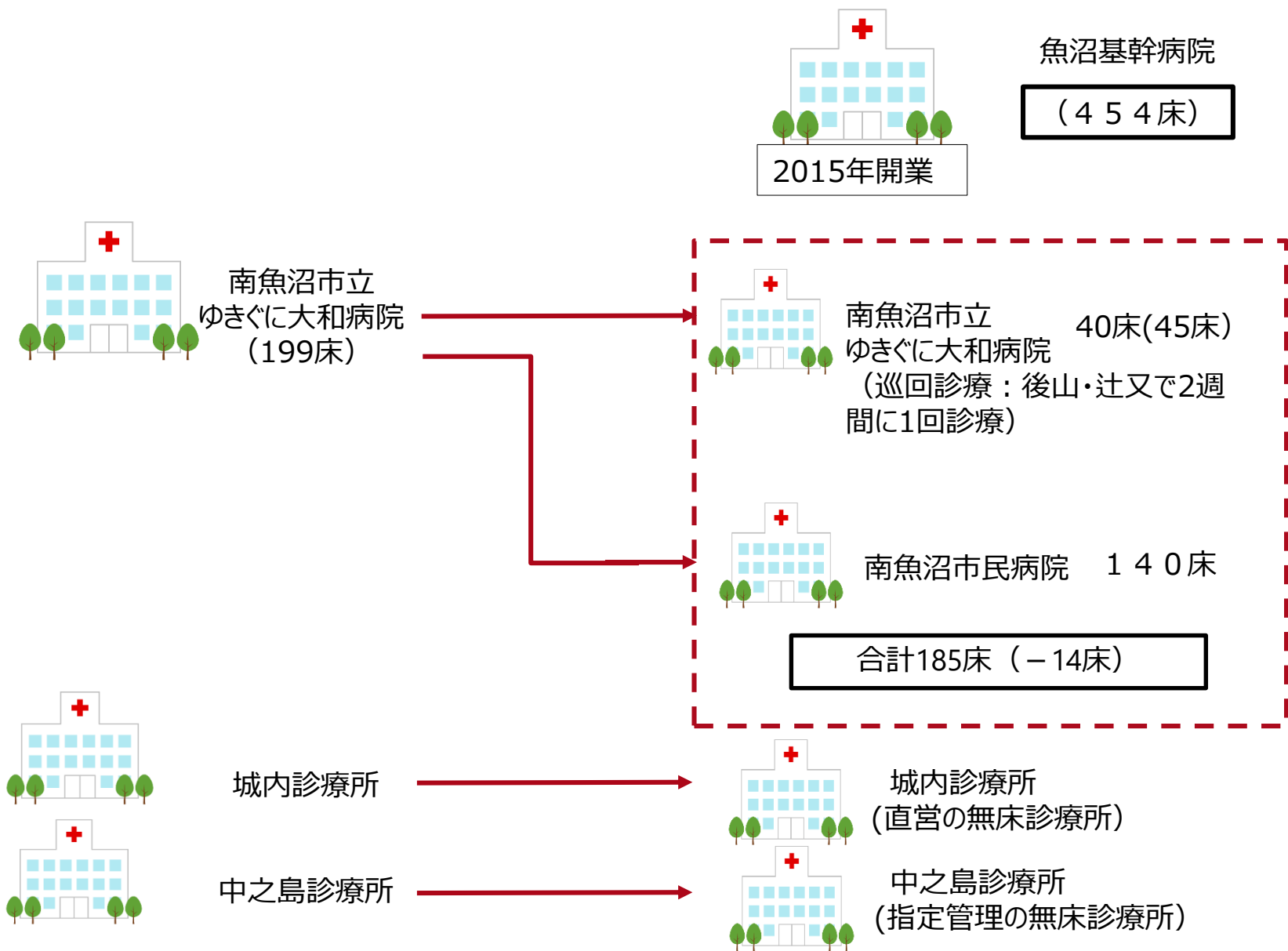
H26年 22医療機関



H31年 18医療機関

※6医療機関閉院
2医療機関開院

市立病院群等の再編について

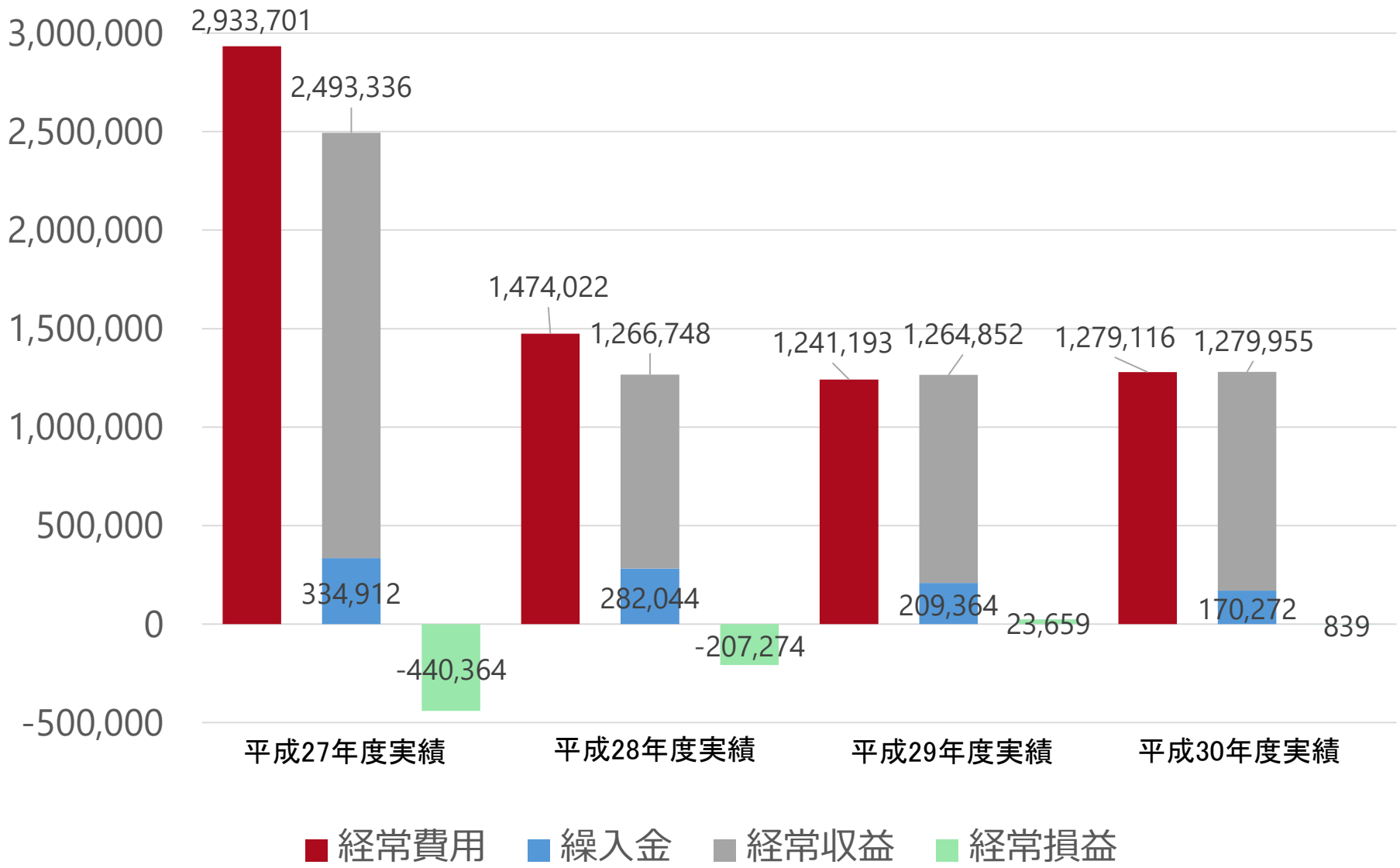


ゆきぐに大和病院の決算状況（過去4年分）

単位：千円

経常収支と経常損益の推移

南魚沼市病院事業会計決算書
繰入金：3条（収益）

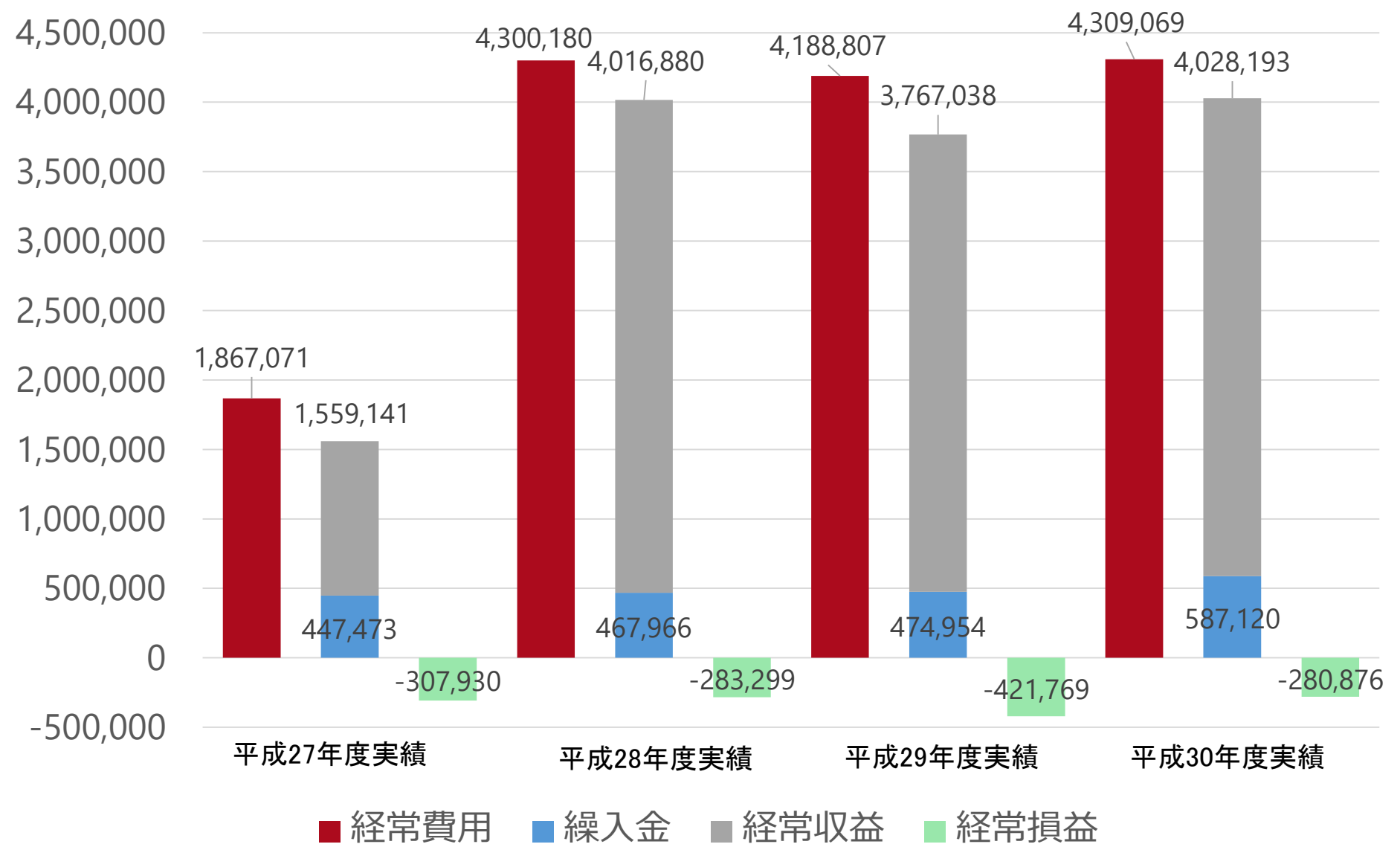


市民病院の決算状況（過去4年分）

単位：千円

経常収支と経常損益の推移

南魚沼市病院事業会計決算書
繰入金：3条（収益）

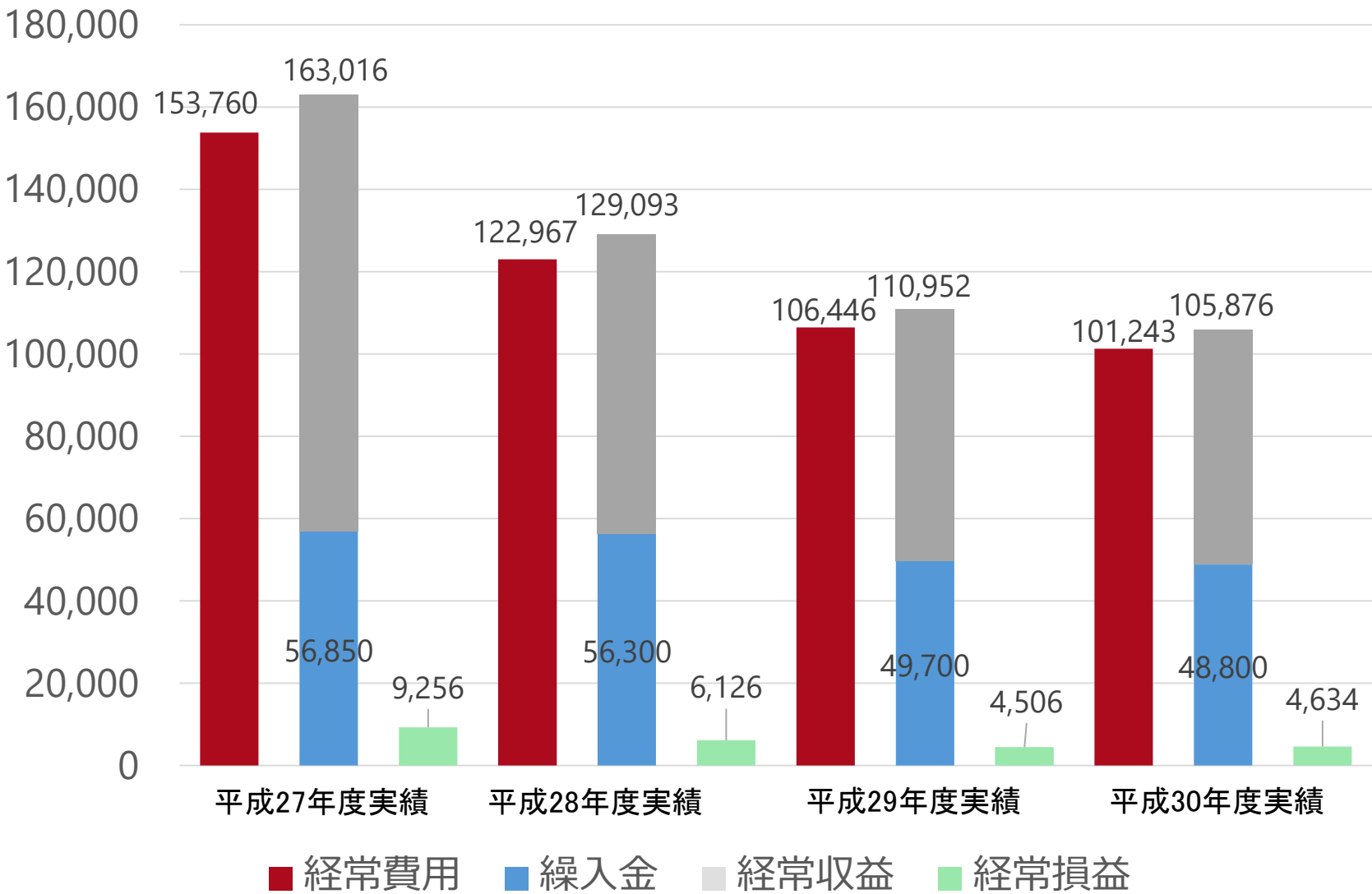


城内診療所の決算状況（過去4年分）

単位：千円

経常収支と経常損益の推移

城内診療所決算資料
繰入金：3条（収益）



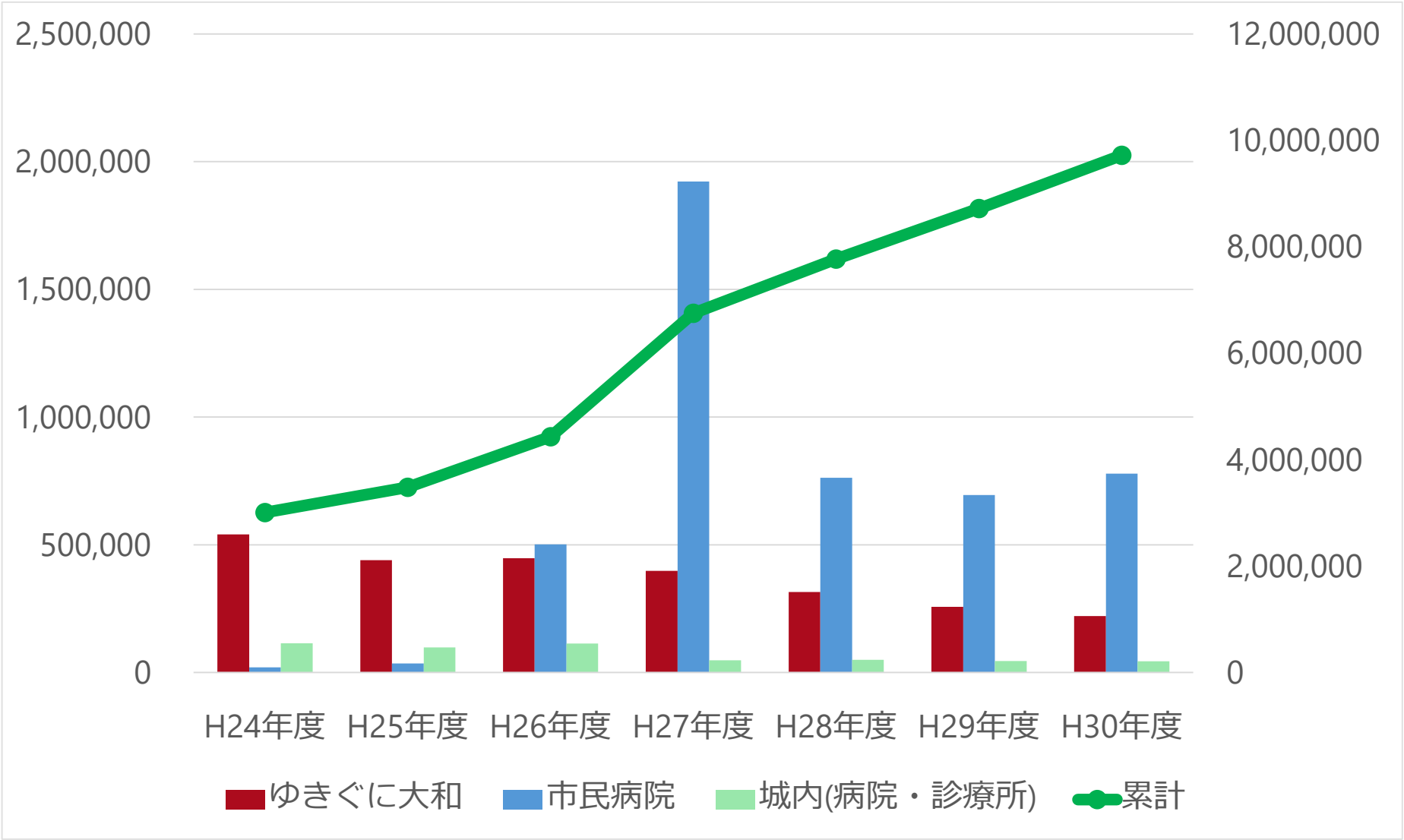
繰入金の変動

繰入金の推移

病院決算資料
繰入金 = 3条（収益） + 4条（資本）

単位：千円

単位：千円



医療再編の現状（魚沼基幹病院の現状）

- 454床⇒308床で稼働
 - 3～5年後に全病棟をオープンすると言っているが、看護師がいないとオープンできない。
 - 地域内の病・医院在籍の看護師がターゲットになる可能性。
- 救急医療について当初ER型：1～3次を見込んでいたが⇒2～3次の一部分に変更
- 高度先進医療については心臓専門医が不在
- 平成31年度から地域包括ケア病床開設予定…
 - 他の病院の入院が減少する可能性
- 病棟拡大の大幅な遅れから、病院収益が伸びず、債務超過の懸念
 - 純損失が、基本財産から300万円を控除した額（30.47億円）を2年連続で超えると「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律」で定める解散事由に該当する。

循環器 急患受け入れ休止 魚沼基幹病院 来月以降

魚沼基幹病院（南魚沼市）が4月以降、急性心筋梗塞など心臓、血管に関する緊急患者の受け入れを休止することが20日、分かった。3人いた循環器内科の常勤医が1人となり、24時間対応ができなくなるため。当面は長岡市内の3病院に受け入れてもらう方針だが、治療開始が30～40分程度遅くなるケースも見込まれ、患者のリスクが高まる懸念がある。

公設民営方式で県が2015年に開設した魚沼基幹病院は、主に魚沼圏域の急性期医療の核に位置付けられている。前面に打ち出した救命救急の一部が機能しなくなる事態に陥り、早期の受け入れ再開を目指すのが、めどは立っていない。

基幹病院によると、循環器内科の常勤医は今年3月末までに1人が退職、2人は県内の別の病院への異動が決まっており、4月からは新任の1人だけとなる。他病院から非常勤医師の応援も受け、外来診療、緊急度を判断するトリアージ対応は維持する。

基幹病院で16年度に急性心筋梗塞の患者らに緊急的な治療を施したのは50件、17年度は昨年12月末までに40件だった。

基幹病院は当面、緊急の治療が必要な患者は長岡市の立川総合病院か長岡赤十字病院、長岡中央総合病院に搬送する対応を検討する。関係市町の消防にも協力を要請し、具体的な連携体制を調整している。ただ、地域の医療関係者からは「一刻を争う中で、長岡まで搬送すれば命を救えないケースも出かねない」と懸念する声も出ている。

基幹病院の内山聖・病院長は「救命救急のためにできた病院として非常に残念な状況で、地域住民に申し訳ない」とした上で、「再開に必要な医師確保に全力を挙げる」と述べた。

基幹病院に常勤医3人を派遣してきた新潟大大学院医歯学総合研究科循環器内科の南野徹教授は、退職者以外の2人を異動させることについて、基幹病院以外でも県内で退職が相次ぎ、補充のために配置換えが必要になったと説明。「県内全体の医療のレベルを維持し、医師一人一人の過重な負担を避けるための苦渋の選択だ」としている。



循環器内科で緊急的な治療を休止する魚沼基幹病院＝南魚沼市浦佐



【社会】 2018/03/21 10:45

三次医療圏別医師偏在指数

	医師偏在指標	順位
全国	238.3	
新潟県	169.8	46

二次医療圏別医師偏在指数

	医師偏在指標	順位
全国	238.3	
1 新潟	233.9	73
2 中越	147.5	222
3 上越	145.3	227
4 下越	125.7	280
5 魚沼	114.6	293
6 佐渡	107.3	302
7 県央	106.8	305

※順位は全国335医療圏中

介護従事者実態調査における傾向

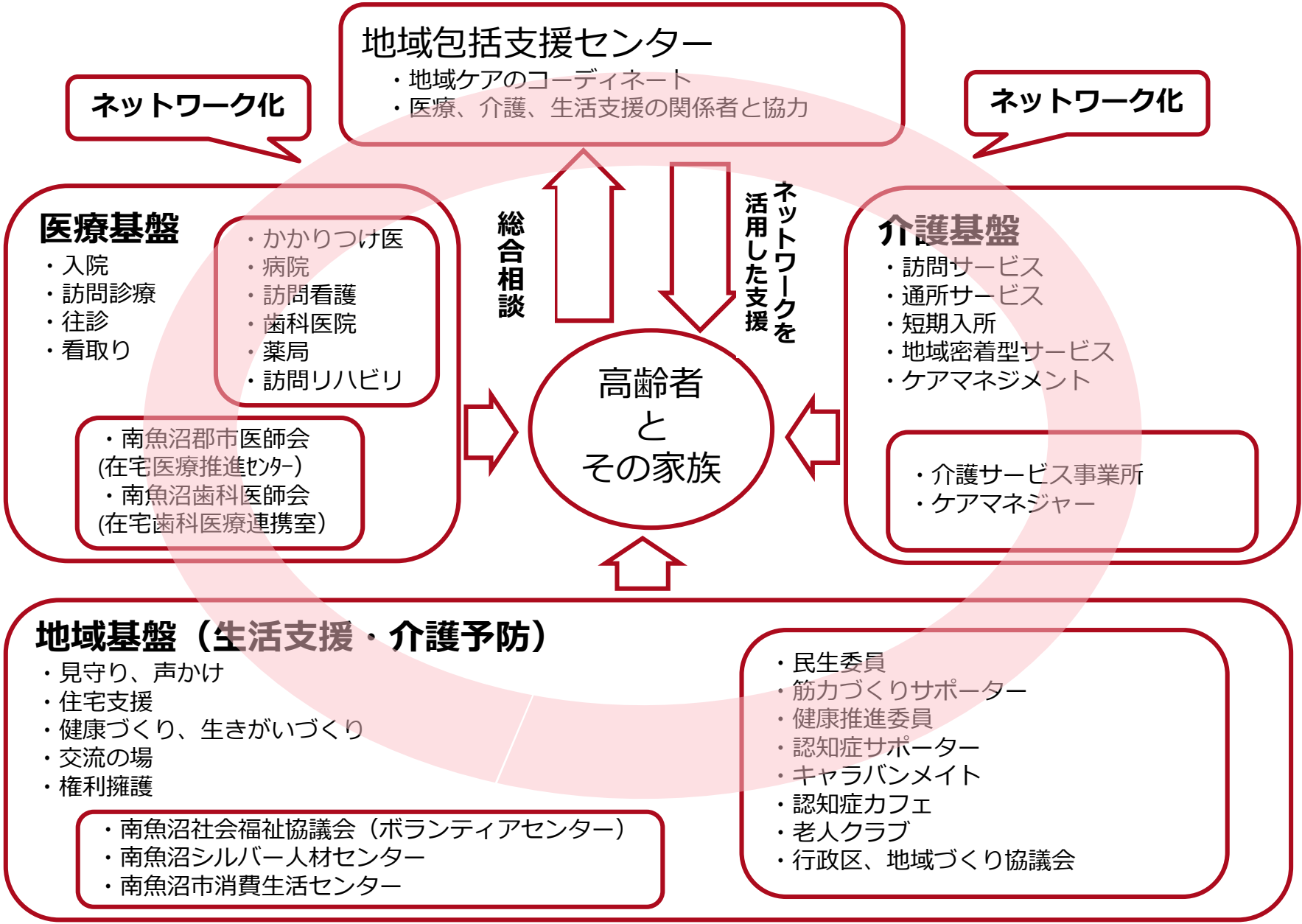
介護従事者の年齢層について
最も多くを占めているのは、30歳から49歳であったが、50歳代以上で介護従事者全体の約43%を占めている。

職種	29歳以下	30～49歳	50～59歳	60歳以上	計
介護職員	130	479	202	144	955
看護職員	3	26	69	58	156
主任ケアマネジャー	0	3	9	1	13
ケアマネジャー	0	33	41	10	84
作業療法士、理学療法士	11	38	5	2	56
その他	5	14	9	11	39
計	149	593	335	226	1,303

業務量を考えた場合、介護従事者はあと何人必要と感じるか（複数回答可）
介護職員が特に不足しており、全体であと132人の介護従事者が必要であるという結果であった。

介護職員	77人	作業療法士、理学療法士	8人
看護職員	31人	その他	1人
主任ケアマネジャー	2人	計	132人
ケアマネジャー	13人		

地域包括ケアシステムの構築に向けた推進体制



特別養護老人ホーム待機者状況

■特養待機者状況

・平成26年から現在まで介護認定3～5の待機者数は330人～340人前後で推移している。その内約65%が在宅での待機で、待機期間は1年6カ月前後となっている。

R元年9月30日現在 待機者数

区 分	要支援等	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総計	介護3～5
1 在宅	4	12	24	103	80	34	257	217
2 老健		2	8	32	29	15	86	76
3 病院・介護療養				2	4	3	9	9
4 GH等その他	1	9	18	25	12	5	70	42
総計	5	23	50	162	125	57	422	344

区 分	要支援等	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総計	介護3～5
H26.3.31	7	29	83	151	114	58	442	323
H27.3.31	7	30	80	143	130	58	448	331
H28.3.31	4	33	69	143	146	56	451	345
H29.3.31	4	22	52	148	142	58	426	348
H30.3.31	6	25	56	145	128	63	423	336
H31.3.31	5	22	47	148	129	56	407	333
R1.9.30	5	23	50	162	125	57	422	344

市外施設入所者状況

■市外施設入所者状況

・平成26年から現在まで、全体では93人から160人に増加している。各施設区分で増加傾向にあるが、特に特定施設が36人から81人と大幅に増えている。在宅介護が難しくなり、経済的負担が増えても市外施設に入所し、市内の施設の空きを待つ人が増えていると推測する。

施設種別	地域別	26年3月末 利用者数	27年3月末 利用者数	28年3月末 利用者数	29年3月末 利用者数	30年3月末 利用者数	31年3月末 利用者数	R1年9月末 利用者数
特別養護 老人ホーム	湯沢町	28人	29人	28人	28人	29人	30人	30人
	県内	2人	3人	4人	4人	4人	3人	3人
	県外	2人	3人	4人	4人	3人	4人	6人
	小計	32人	35人	36人	36人	36人	37人	39人
介護療養 型医療施設	県内	9人	12人	19人	20人	20人	17人	18人
	県外	0	0	0	0	0	0	0
	小計	9人	12人	19人	20人	20人	17人	18人
介護老人 保健施設	県内	12人	13人	15人	12人	12人	13人	13人
	県外	4人	4人	4人	6人	11人	13人	9人
	小計	16人	17人	19人	18人	23人	26人	22人
特定施設 入居者生 活介護	県内	9人	12人	8人	7人	8人	7人	8人
	県外	27人	22人	32人	39人	56人	69人	73人
	小計	36人	34人	40人	46人	64人	76人	81人
合計		93人	98人	114人	120人	143人	156人	160人